

平成30年3月分（1件）

【ふるさと納税の使い道について】

内容	<p>現在、たくさんの犬や猫の命が殺処分という形で奪われています。</p> <p>日本の各地でふるさと納税を活用した犬猫の殺処分をゼロにする活動が行われ、すでに達成している市や町があることをご存知でしょうか？</p> <p>今は犬や猫を家族同然と考え、大切に飼う人がいる一方で、いまだに安易に繁殖させたり、劣悪な環境で飼っていたり、最期まで面倒を見ずに殺処分される命があとをたちません。言葉を持たない彼らがどう扱われるかによって、その地域の人々の人間性が問われ、環境に対する考え方が表れてくると思うのです。</p> <p>館山市が犬や猫の殺処分ゼロの活動に力を入れれば、館山市の名は広く日本中に知られ、動物を大切にするイメージが定着し、犬と共に入れる施設や飲食店、宿泊施設等を少しでも増やすことで「犬にやさしい町・館山」として愛犬家たちは館山へ観光に来てはリピーターになると思います。</p> <p>市のホームページにも愛犬と行くモデルコース等を掲載することによって自然豊かな館山市を知ってもらえる機会になると思います。</p> <p>そして、飼い主が排泄物を持ち帰らず、道路等に落ちているのをよく見ます。人間のモラルの問題です。中々なくなることは難しいと思うので、条例を定めてはどうでしょうか？</p> <p>加熱するペットブームの中、いち早く問題に切り込んでいくことでクリーンな町づくりはこれから先も大切になっていくと思います。</p> <p>1日も早く犬猫の殺処分がなくなるよう、ふるさと納税を活用した館山市の殺処分ゼロの活動をご検討お願い致します。</p> <p style="text-align: right;">【H30. 3. 14 受理】</p>
回答	<p>「ふるさと納税を活用した犬猫の殺処分をゼロにする活動」については、全国のいくつかの自治体で、町と犬・猫のNPO団体とが連携した取組みや、県や中核市にある動物愛護センターの取組みとして、収容された犬猫のエサや治療費、野良猫の不妊・去勢手術費助成や収容ゲージの購入、ワクチン接種、ペットシートや薬品の購入、譲渡ボランティアへの支援物資購入などを行なっていることは承知しております。</p> <p>確かにふるさと納税の活用は財源確保の一つの方法でもあり、有効なものですが、当市におきましては、保護や譲渡の相談、また野良猫の対策等の相談は多くはありませんので、現時点でふるさと納税制度の整備による取組みは考えておりません。</p> <p>また、犬猫による糞尿被害や、犬が吠えてうるさい等の相談には、啓発看板の設置や安房保健所によるしつけの指導等を行っています。併せて、野良猫への餌やりや、増加などにつきましても、安房保健所と連携を密にし対応しています。</p> <p>しかしながら、殺処分ゼロ、野良犬や野良猫を増やさないためには、飼い主が最後まで責任を持って飼うという意識を持つことが大切ですので、この啓発については近隣市町や安房保健所との意見交換や、安房獣医師会の先生方と議論の場を設けて、より効果的な方策を検討していきたいと考えております。</p> <p>また、当市には、『館山市まちをきれいにする条例』がありますので、この中で規定している”飼い犬のフンの放置の防止に関する飼い主の責務、また違反している者に対する勧告について”市民の皆様方や飼い主に対し今後も、様々な機会を捉え周知してまいります。</p> <p>最後になりましたが、今後も動物愛護に関しご意見を頂ければ幸いと存じます。</p> <p style="text-align: right;">【H30. 3. 29 回答】</p>